

## 新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止対策への御協力（お願い） 【施設利用等のガイドライン（宿泊・日帰り利用）】

当交流の家では、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大防止対策（以下、「コロナ対策」という。）を令和3年4月1日に改定し、利用団体の皆様の御理解と御協力のもと、全ての利用者の「安全・安心」の確保に努めながら施設の運営を行っています。引き続き、本要領の趣旨を御理解いただき、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、本要領は、今後の社会的状況や、国、県の方針を踏まえ、適宜更新します。

### 1 入所前のお願い

発熱や、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状があるなど、体調の悪い利用者については、御利用をお控えください。※ 発熱とは、平熱比+1度以上を意味します。

### 2 施設が実施する主な感染防止策

- ◎ 宿泊定員数 400 人程度の受入れを行います。
- ◎ 朝のつどい、夕べのつどいは、当面の間、中止します。
- ◎ レストランでの食事提供は、ビュッフェ形式で行い、利用団体ごとにトングの交換等を行います。また、一度に入室できる人数を 160 人程度に制限します。
- ◎ 入浴は、混雑による 3 密を避けるため、大浴室は 30 人まで、中浴室は 20 人までの人数制限を行います。これに伴い、入浴時間 17:00 から 22:00 の間で、利用団体の入浴時間の割り振りを調整します。
- ◎ 研修室等は、人との間隔が 1 m 空けられる場所を割り振りします。
- ◎ トイレのジェットタオルは、ウイルス飛散防止のため、使用禁止とします。
- ◎ 使用後のマスクや咳エチケット後のティッシュ等を処分するために管理研修棟・宿泊棟等の各トイレ前に蓋付きのゴミ箱を配置しています。

### 3 感染防止策に伴う協力のお願い

#### <全体に関わる内容>

- 宿泊利用者の起床時と午後の活動後に、全員の検温と健康観察を団体責任者が取りまとめの上、必ず行ってください。※ 日帰り利用者は、入退所時に事務室で検温と健康観察を行います。
  - <注意点>
    - ◇ 体温計は、当交流の家から貸し出します。（非接触型体温計を原則、1 団体 1 台貸出し）
    - ◇ 検温と健康観察は、健康チェックシートに利用者一人ひとりの結果を記入し、朝は 7 時に事務室へ、夕方は代表者会議の時に提出してください。
    - ◇ 活動中は常に健康状態の把握をお願いします。
  - 発熱や体調不良などの体調不良者が出た場合は、速やかに事務室までお知らせください。
  - 利用期間中のこまめな「手洗い」、「うがい」、「消毒」や「マスク着用などの咳エチケット」の徹底をお願いします。
- なお、管理研修棟・宿泊棟の各フロアにティッシュペーパーを配置しています。ご利用ください。
- 集合する場合は、前後左右の人との間隔を 1 m 空けてください。

- 形式的な入・退所式の実施はお控えください。(職員の挨拶は当面の間、行いません。)  
※ ただし、オリエンテーションビデオの視聴は行ってください。(事前にオリエンテーションビデオの視聴を行っている場合は、その限りではありません。)
- 利用期間中に体調不良者が出た場合は、速やかに事務室へ連絡するとともに、該当者が帰宅できるようにするなど、団体での御対応をお願いします。

#### <研修室や屋内活動の利用>

- 研修室等は、複数の窓を5cm程度空け、常時換気を行うとともに、前後左右の人との間隔を1m空けてください。
- 研修室等は、使用後にチェックシートをもとに原状復帰を行い、出入口を施錠し、速やかに鍵とチェックシートを事務室に返却してください。
- 体育館や講堂など、屋内活動における1時間おきの換気を行ってください。

#### <屋外施設の利用>

- 屋外での活動は、できるだけ少人数になるようグループの編成を行ってください。各研修プログラムによって対応策が異なります。事前の打ち合わせ等を職員と行ってください。  
※ 事前に「4 各研修プログラムのガイドライン」を参照してください。

#### <宿泊室の利用>

- 宿泊室は、次の宿泊人数の目安を参考に割り振りを行ってください。
  - ◇ A・B・C棟(ベッド部屋)の場合  
3人部屋：3人、5人部屋：5人、6人部屋：6人、12人部屋：12人
  - ◇ D・E棟(和室部屋)の場合  
4人部屋：3人、5人部屋：5人、8人部屋：6人、13人部屋：10人
- 宿泊室内は、十分な換気を行うために各部屋の出入口の扉を開放し、窓を5cm程度空けた状態で使用してください。
- 枕を覆うためのタオル一枚と枕の下に敷くタオル一枚の計2枚を持参してください。  
※ 未使用のタオルを、枕カバーと敷布団シーツと併用して使用します。
- 宿泊棟のトイレ・洗面所の窓と出入口の扉は、開放状態で使用してください。また、トイレ・洗面所を掃除する時も同様に換気してください。
- 利用者の貴重品は、団体責任者が一元管理してください。
- 研修室・宿泊室等の使用後は、スイッチ、ドアノブ等、よく触れる箇所の消毒作業に御協力ください。(消毒液、雑巾を所内各所に配置しています)。

#### <レストランの利用>

- レストラン入室前にロビー等で待機する場合は、前後左右の人との間隔を1m空けてください。
- レストランへは、手洗い、手指消毒を行ってから入室してください。
- お皿に料理を盛り付ける時は、マスクを着用し、会話を控えてください。
- 食事の時は、できるだけ座席を広くとり、会話を控えてください。
- 飲酒等が伴う懇親会などの実施は、当面の間、お控えください。
- 引率指導者の方は、人との間隔が1m空くように、入室誘導や食事の受け取りなどの指導を行ってください。
- 食事時間は、次の範囲で設定します。
  - ◇ 朝食 7:30~9:00
  - ◇ 昼食 11:00~13:30
  - ◇ 夕食 17:00~19:30

以上の点について、入所受付の時などに、当交流の家職員からも改めてお願いします。

#### 4 各研修プログラムのガイドライン

(1) 全ての研修プログラムで次の点に留意して活動を計画してください。

- 貸出物品は、使用後に利用団体が必ず消毒して返却してください。
- 屋内活動・研修は、常時換気を行いながら実施してください。
- 研修前後のうがい、手洗い、手指消毒を必ず行ってください。
- 活動前後の全体説明や振り返り等は、クラス単位や小グループで行い、40人を超える人数が一か所に集合する機会がないよう、できるだけスケジュールを工夫してください。
- 活動中に使用したティッシュ等は、引率者に配布するビニール袋（黒またはピンク）に集め、処分してください。

(2) 各研修プログラムの対応策

<b>① カッター研修</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 1艇の研修生の乗船人数は、1艇24人で実施する。</li><li>○ 乗船前、乗船後の船内、櫂等のアルコール消毒を実施する。</li><li>○ 乗船前の研修生の検温を実施する。</li><li>○ 乗船前後の研修生の手指消毒とライフジャケットの消毒を実施する。</li><li>○ 陸上での集合時や指導の際は、研修生はマスクを着用して実施する。</li><li>○ 洋上研修中のマスクの着用は、熱中症対策に十分注意し、脱着しても良い。</li><li>○ 洋上研修中は、研修生の声出しは控えて実施する。</li><li>○ 洋上指導では、指導員はポータブル拡声器の使用とマウスシールドの着用により、指導中の飛沫防止を行う。</li><li>○ 洋上研修は80分で実施する。 なお、宮島、似島の「1日コース」は、当面の間、停止する。</li><li>○ カッター研修終了後は、必ず着替えを行う。</li><li>○ 十分なコロナ対策を望む団体は、綿密な事前相談を企画指導専門職と行い、1艇12人での実施が可能であるかの判断を行う。</li></ul>
<b>② 野外炊事</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 当面の間、野外炊事のメニュー（ごはん炊きを含む）は、次の内容で実施する。 ◇ ビーフカレー ◇ すき焼き ◇ 具だくさん豚汁 ◇ 焼き芋</li><li>○ 全体集合時などは、前後左右1mの間隔を空けて集合する。</li><li>○ 第1、第2野外炊事場は、1班6人以内で実施する。（各炊事場、最大72人まで）</li><li>○ マスク、ビニール手袋、割りばし、紙皿、紙コップ、スプーン、（使い捨てができるもの）消毒液（予備）は、団体が持参する。</li><li>○ 包丁やおたま等の調理器具は、複数人で使用しないように実施する。</li><li>○ 食事の場面では、できるだけ対面で食事をすることや会話をするのを控えて実施する。</li><li>○ 配膳を交代する場合やお代わりをする場合は、必ず手指消毒を行う。</li><li>○ ナタや調理器具等の使用後は、団体が消毒を行い、返却する。</li><li>○ 十分なコロナ対策を望む団体には、レトルト食品（カレー）の提供を行う。</li></ul>
<b>③ ディスクゴルフ</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li><li>○ 全体集合時などは、前後左右1mの間隔を空けて集合する。</li><li>○ 活動中は、1班6人以内の単位で実施する。</li><li>○ 活動後の使用したディスクは、団体が消毒して返却する。</li></ul>

<b>④ 所内ビンゴ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。</li> <li>○ 活動中は、1班6人以内の単位で実施する。</li> <li>○ 道具の貸し借りや受け渡し、個人以外の物品の使用は行わない。</li> </ul>
<b>⑤ オリエンテーリング・ウォークラリー</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。</li> <li>○ 活動中は、1班6人以内の単位で実施する。</li> <li>○ 1人1枚のマップを配布して実施する。</li> <li>○ 「探検バッグ」等の個人用バインダーを団体に用意する。</li> </ul>
<b>⑥ 水晶山・古鷹山登山・水晶の森・どんぐり広場・丸太広場</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。</li> <li>○ 活動中は、全員が軍手を着用し、人との間隔を1 m空けることに注意しながら活動する。</li> <li>○ 危険回避以外の身体接触は避けて実施する。</li> </ul>
<b>⑦ カヌー・水泳</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後に手指消毒とライフジャケットの消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。 なお、準備体操などは、クラス単位や小グループで実施する。</li> <li>○ 強い身体接触が起こる場面を設けない。</li> </ul>
<b>⑧ マリンウォッチング・ビーチコーミング・ナイトマリンハイク</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後に手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。 なお、活動は、班単位や小グループで実施する。</li> <li>○ 強い身体接触が起こる場面を設けない。</li> </ul>
<b>⑨ カプラ・ドミノ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。 なお、活動は、班単位や小グループで実施する。</li> <li>○ 活動中は、マスクを着用する。</li> <li>○ 室内は、常時換気する。</li> <li>○ おんぶや肩車などの強い身体接触は行わない。</li> <li>○ 原則、隣同士の間隔を1 m保ちながら活動する。</li> <li>○ 特に片付け時には、密集をさけるために、15分を目安に休憩等をはさむ。</li> </ul>
<b>⑩ インドアクッパ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1 mの間隔を空けて集合する。</li> <li>○ 活動は、1チーム3人以内で実施する。</li> <li>○ 活動後の物品は、団体が消毒して返却する。</li> </ul>

<b>⑪ ファイヤーのつどい・キャンドルのつどい</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活動前後の手指消毒を実施する。</li> <li>○ 全体集合時などは、前後左右1mの間隔を空けて集合する。</li> <li>○ 活動中は、マスクを着用する。</li> <li>○ 強い身体接触が発生するゲーム等は禁止する。 (例) 猛獣狩り、フォークダンスなど</li> <li>○ 向かい合わない状態(円の状態)で、横の人との間隔を1m空けた上で、マスクを着用しての発声や合唱は許可する。</li> <li>○ スタんツは、拡声器等を使用し、上記内容を厳守した上での実施を許可する。</li> <li>○ 営火場での実施は、1クラス40人までの使用とする。</li> </ul>
<b>⑫ 江田島焼・江田島クラフト・カードスタンドづくり</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ クラフト室は、1テーブル4人掛けで、40人以内で実施する。</li> <li>○ 第8研修室は、1テーブル1人掛けで、40人以内で実施する。</li> <li>○ 活動中は、クラフト室、第8研修室とも常時換気を行いながら実施する。</li> <li>○ 研修生同士の作品及び道具等での間接的な接触を避ける。</li> <li>○ 道具の貸し借りや受け渡し、個人以外の物品の使用は行わない。ただし、やむを得ない場合は、必ず消毒してから使用する。</li> </ul>

(3) 自主活動(交流の家の研修プログラム以外)のガイドライン

利用団体が自主的に行う活動については、どの活動においても「3密を回避する対策」を前提に内容を計画してください。

- ◇ 密閉：屋内の場合は、常時換気するとともに、1時間ごとに窓と出入口を全て開放した換気を行う。
- ◇ 密接：お互いに手が届く距離での会話・発話・運動等を控える。
- ◇ 密集：人との間隔を、前後左右1mを確保する。

① 文化系活動及び学習や講義等を実施する場合

- 使用後の消毒が難しい消耗品(チョーク等)や活動物品(筆記用具、スケッチ道具等)については、必要に応じて各団体で御用意ください。
- 研修室の机は1人1台で使用し、隣や前後の間隔を1m取ってください。
- 挨拶や台詞を大きな声で発する、いわゆる「声出し」等は、屋内、屋外問わずお控えください。
- 合唱や合奏等は、他の団体への迷惑にならないよう、活動場所や時間を適切に設定し、極力個人で活動してください。
- パート練習等は、必ず2m以上の距離を取り、向き合わずに行ってください。
- 全員が揃っての合唱や合奏等はお控えください。

② 運動やスポーツ活動を実施する場合

- 代表者の方や引率指導される方は、『「安全に運動・スポーツをするポイントは？」の改正について(スポーツ庁健康スポーツ課・令和2年5月22日改訂)』やそれぞれの団体が関係する協会や連盟が定めた指針、ガイドライン等を参考にして活動してください。
- 館内備品(バレーボール・バドミントン用ネットや支柱、フットサル用ゴール等)を除き、団体が使用するラケットやボール等の物品については、必要に応じて各団体でご用意ください。

③ 定員を制限する屋内・外施設(目安)

- 各研修室等…定員の半数(1テーブル1席)
  - ・ 第1, 2, 3, 7 研修室…20人まで
  - ・ 第5, 8, 10 研修室…40人まで
  - ・ 第4, 9 研修室…14人
  - ・ 第6 研修室…10人まで
- 体育館…運動150人まで運動以外300人まで
- 講堂…運動100人まで運動以外200人まで
- 武道館, 海洋科学室…運動40人まで運動以外80人まで
- クラフト室…40人まで
- キッズスペース…3密を避けてご利用ください。
- グラウンド…特に制限なし
- 野球場…特に制限なし
- テニスコート…特に制限なし
- 営火場…40人(1クラス)まで

※ 使用後は, 高頻度接触部位(テーブル, 椅子の背もたれ, ドアノブ, 電気のスイッチ, 内線電話, 窓のサッシ等)の消毒にご協力ください。

5 退所後のお願い

退所後2週間以内にPCR検査の結果, 新型コロナウイルスの陽性反応が出た場合は速やかに交流の家に御連絡ください。

※ 連絡先: 江田島青少年交流の家事務室

日中: 0823-42-0660
夜間: 0826-42-0663